

平成30年度教育研究活動報告書			
氏名	市川彰	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士	職位	准教授
専門分野	日本美術史、博物館学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	授業科目、日本美術史、日本美術史Ⅰ、日本美術史Ⅱ、博物館資料論、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館経営論、博物館実習Ⅰ、博物館実習Ⅱ、美術表現入門
大学院	美術史特講（日本）
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）18世紀京都画壇の研究	
（2）地誌・名所図会に記された京都の名宝に関する研究	
本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28（件数は追加可）	
H30 〈その他〉名所図会に記された京都の「名宝」（六）-『拾遺都名所図会』巻之三～四-、尾道市立大学芸術文化学部紀要第18号、2019	
H29 〈その他〉名所図会に記された京都の「名宝」（五）-『拾遺都名所図会』巻之二-、尾道市立大学芸術文化学部紀要第17号、2018	
H28 〈その他〉名所図会に記された京都の「名宝」（四）-『拾遺都名所図会』巻之一-、尾道市立大学芸術文化学部紀要第16号、2017	
H27以前の主な研究業績（件数は追加可）	
（1）〈論文〉若冲画に示されたもの-「動植綵絵」以前の三件の鶴を主題とする着色表現をめぐって-、『研究紀要』第20号、京都大学文学部美学美術史学研究室、1999	
（2）〈論文〉若冲画に示されたもの2-《初期作品》「雪梅雄鶏図」をめぐって-、京都文化博物館紀要『朱雀』第19集、2007	
（3）〈論文〉若冲の《最初期の着色画》、「雪中雄鶏図」をめぐって、「美術に関する調査研究の助成」研究報告、鹿島美術財団、2002	
（4）〈その他〉『都林泉名勝図会』に記された「名宝」、京都文化博物館紀要『朱雀』第20集、2008	
（5）〈その他〉狩野永敬筆「十二ヶ月歌意図屏風」について～平成21年度修繕報告を兼ねて～、京都文化博物館紀要『朱雀』第23集、2011	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）（件数は追加可）	
公開講座	1回
（公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入） ・俵屋宗達「風神雷神図屏風」～この絵はどのように生まれ、受け継がれたのか～、10月1日、サテライト、尾道文学談話会	